



今年度の取組と成果等

現在までの状況（対象児童・・・4名）

○本人、保護者、学校、看護職員、特別支援教育センターが、自立に向けた中期目標や長期目標を共有し、実行している。必要に応じて、自立に向けたチェックリスト作成（本年度は1名）。

児童	今年度の目標 （中期目標）	今年度の取組例	今年度の成果等	来年度の目標 （長期目標）
A	今年度末までに、声掛けなしで進んでトイレまで移動できる。	①どの休み時間に導尿をするか本人から伝える。 ②チェックリストを担任とも共有する。	①本人から伝えることが増え、進んでトイレまで来ることもあった。 ②担任と連携が取りやすくなり、担任からの声掛けが多くなった。	次年度末までに、自立して導尿ができる。
B	今年度末までに、一日全て自己導尿ができる日がある。	①時間変更がある場合は本人から伝える。 ②導尿に来なかったとき、本人が気づくまで少し待つ。	①本人から伝えることがあった。 ②後から本人が看護職員を呼びに来たことがあった。 ①②ができていることはあるが、一日全て自己導尿はまだない。	次年度末までに、自立して導尿ができる。
C	今年度末までに、進んで時間内に自己導尿ができる日がある。	①なるべく見守りの姿勢をとる。 ②導尿に来なかったとき、本人が気づくまで少し待つ。	①本人が進んで準備、片付けも含めた自己導尿を行うことができています。時間内が難しい。 ②導尿に来ない時は今のところない。	次年度末までに、自立して導尿ができる。
D	今年度末までに、一日全て時間内に自己導尿ができる日がある。	①どの時間に導尿をするか事前に確認する。	①昼休みは時間内に自己導尿できるが、他の場合は時間内が非常に難しい。一日全て自己導尿はまだない。	次年度末までに、自立して導尿ができる。

3月頃に保護者、学校、特別支援教育センターで、現状の確認を行う予定



医療的ケア児の自立 次年度の方角性について

ねらい

医療的ケア児が自分で準備、片付け、手技ができるために、その子に応じた支援の在り方について、保護者や学校職員等、関係者が共有するとともに、成果の把握や改善策の検討を円滑に進めることを目的とする。

次年度の自立に向けた支援の方角性（案）

○自立がどこまでできたかチェックリストを特別支援教育センターが用意し、看護職員が加除修正をして使用する。

○本人、保護者、学校、看護職員、特別支援教育センターが連携して、自立に向けた中期目標や長期目標をたてる。

○保護者の了解のもと、特別支援教育センターが主治医と情報共有を行い、支援に関する情報があれば学校や看護職員とも共有する。

運用

本人、保護者、学校、看護職員、特別支援教育センターで、チェックリスト等をもとに、自立の現状確認と以後の支援策の方角性について検討を行う。

方角性の具体的な取組等について、ご意見をいただきたい

学校で使用している医療的ケア実施個別マニュアル例

実施担当者 職・氏名	医療的ケア看護職員 ○○ △△
実施期間	令和7年4月 から 令和8年3月 まで
実施場所	○○○
実施時刻	10時 分頃、13時 分頃
実施医療的ケア	導尿
手 順	1 プライバシーが守れる環境を整える 2 必要物を確認 3 流水と石鹸で手を十分に洗う 4 器具等の準備（管、各所の消毒、衣服等の体勢準備等） 5 尿道口が清潔になったら、医療的ケア（導尿）の実施 6 残尿は感染の原因になるため、尿の流出が少なくなったら腹圧を少しかけて、尿の流出をはかる 7 管を抜く 8 器具等の片付け（管、衣服、おむつ等）
準備物	1 消毒液 2 ゼリー 3 管 4 おむつ
配慮事項	1 消毒を確実に行う。 2 可能であれば準備物や実施環境を整えておく。 3 必要に応じて、実施場所を変更する。
緊急時対応 ・医療的ケアについての緊急対応 ・看護師、対象児童生徒に関する緊急対応	1 看護師への連絡 △△ 090- - （連絡者： ） 2 養護教諭、教頭、校長への連絡 （連絡者： ） 3 医療機関への連絡 （連絡者： ） 救急車 119 緊急時連絡病院 静岡市立○○病院 054- - 4 保護者への連絡 090- - （連絡者： ）

チェックリスト案(導尿 一日2回版)



名前 () 月 日 (月) ~ 月 日 (金)

[illegible]

◎…できた！(2点) ○…あと少し(1点) △…看護職員が行った